



株式会社

ドン・キホーテ
Don Quijote Co.,Ltd.

ひと目でわかる

2012年6月期 本決算

お客様の支持拡大で23期連続増収営業増益

震災の反動や天候不順をものとしめない変化対応能力で、既存店は0.5%、長崎屋から業態変換したMEGAドン・キホーテは9.2%の増収と、店舗の収益力を向上させました。商品構成においても、プライベートブランド「情熱価格」で高感度なラインナップを増やしながらかつ硬直化しないポートフォリオを実現させ、持ち前の得意分野である編集能力の健在ぶりを見せました。出店形態も多様化し、23期連続の増収営業増益の継続を今後も図ります。

売上高

5,403
億円

固定客の支持に加え、MEGA店舗を中心とした女性客などの新規顧客の囲い込みに成功。ファッション用品など嗜好性商品の伸長が家電の落ち込みをカバーしました。新店21店舗の寄与も大きく、売上高は5,403億円(前期比6.4%増)で着地しました。

営業利益

293
億円

MEGA ドン・キホーテで 9.2%の増収を達成するなど、業態が深化し店舗の収益力が本格化しました。LED 費用含む販管費増をオペレーションコストの圧縮で抑制し、売上利益増加率を下回る水準に留めることに成功しました。営業利益は293億円(同15.7%増)となりました。

経常利益

293
億円

営業外損益収支戻は0.4億円のマイナスとなったものの、営業増益効果で、経常利益は293億円(同16.5%増)となりました。

当期純利益

198
億円

特別利益として更正債権弁済益 18億円などを計上した結果、当期純利益は198億円(同56.7%増)と過去最高益で着地しました。

総資産

3,627
億円

新規出店 21 店舗を中心とした棚卸資産の増加分 21 億円に加え、出店に伴う土地などの有形固定資産 145 億円及び、借地権などの無形固定資産 38 億円の増加により、総資産は 3,627 億円(前期末比 214 億円増)となりました。

純資産

1,457
億円

利益剰余金 193 億円の積み増しなどで 1,457 億円(同 205 億円増)となりました。なお、自己資本比率は 39.5%となり、3.3 ポイント改善しました。

EPS

257.47
円

1株当たり当期純利益(EPS)は、過去最高益を更新したことから、257.47円(同89.65円増、53.4%増)と大幅にアップして着地しました。

ROE

14.9
%

自己資本当期純利益率(ROE)は14.9%となりました。

お買上客数

23,297
万人

当社グループ各店舗をご利用いただきましたお客様(レジ通過客数)は、2億3,297万人(同1,477万人増)となりました。

店舗数

242
店

新規出店はドン・キホーテ 11 店、MEGA6店、エッセンス3店、ピカソ1店など 21 店を実施。グループ全体の店舗数は 40 都道府県 239 店舗、ハワイの3店舗を含めると 242 店舗となりました。

売場面積

684,400
m²

2012年6月末時点の売場面積は、当期中における新規出店などにより、2011年6月末と比較して46,533m²増加し、684,400m²(7.3%増)となりました。

年間配当金

31
円

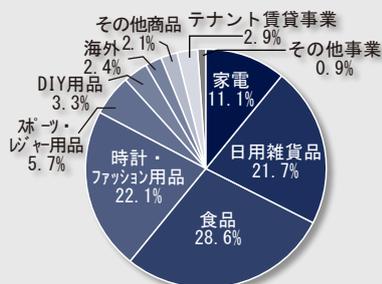
中間配当を含めた年間配当金は、1株当たり31円と9期連続の増配を実施しております。なお、配当金総額については、上場以来、15期連続の増額を継続しています。

商品点数

131,394
万点

当社グループが当期間にお客さまの手に届けた商品点数は13億1,394万点(国内のみ)となりました。

商品分類別売上高構成比



株主数

3,964
名

株主数は前期末に比べて578名減少し3,964名となり、外国人株主の保有比率は56.1%となりました。

株主分類別持株数構成比

